

おおの自治協だより

発行：大野地区自治協議会（大野地区公民館内）
佐世保市田原町 13-29 ☎49-6589



大野地区町内対抗輪投げ大会開催

平成28年7月3日（日）大野地区自治協議会生涯学習部会が主催する大野地区町内対抗輪投げ大会が開催されました。大会には大野地区の27町内が参加し、熱戦が繰り広げられました。

- （団体表彰）
- | | |
|---------|----------|
| 優勝 | 坂の上公民館 |
| 準優勝 | 四条橋公民館 |
| 第3位 | 泉福寺1組公民館 |
| 敢闘賞 | 乙女橋公民館 |
| チームワーク賞 | 上堺木公民館 |

（個人表彰）

	優勝	準優勝	第三位
個人賞	山口恭弘(坂の下)	高増幸子(上堺木)	関 清之介(上堺木)
シニア賞	山口紗穂(知見寺)	北川智也(矢峰)	江口智紀(上堺木)
婦人部長賞	山北良子(四条橋)	宮崎恭子(北池野)	伊波玲奈(坂の上)
シバ-賞	馬場庄三(石盛)	石田京子(西泉)	松永伸子(石盛)



（大会の様子）

第1回地区自治協議会連絡会議開催

佐世保市が進める地域コミュニティ推進事業で、平成27年度から市内全域を対象とした自治協議会設立が進められ、6月末で市内14地区に設立されました。

そのような中、各地区の自治協議会長、事務局長、関係支所長が集まり、それぞれの地区の活動状況、課題、今後の取り組みについてなどの意見交換、情報共有の場として、地区自治協議会連絡会議が、7月7日（木）に開催されました。

大野地区自治協議会からも、森会長、事務局長、支所長が参加し、活動状況の報告や他の自治協議会との意見交換などを行いました。

【市内各地区の自治協議会設立状況】

地区名	自治協発足年月日	地区名	自治協発足年月日
吉井地区	平成25年 7月 6日	柚木地区	平成28年 4月21日
宮 地区	平成25年 7月17日	鹿町地区	平成28年 4月21日
山澄地区	平成25年 7月31日	江迎地区	平成28年 4月27日
大野地区	平成25年 8月 6日	三川内地区	平成28年 5月14日
針尾地区	平成27年 9月 1日	九十九地区	平成28年 5月20日
小佐々地区	平成27年12月 6日	中部地区	平成28年 6月 4日
南 地区	平成28年 4月 1日	西 地区	平成28年 7月 1日



「地域コミュニティ」について考えてみよう

1. 「地域コミュニティ」ってなに？

日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験を通して生み出されるお互いの連帯感や共同意識と信頼関係を築きながら、自らの地域を地域住民みんなの力で自主的に住みやすくしていく。そうした地域社会のことです。

大野地区には、町内会や子供会、老人会、青少年健全育成会、民生委員児童委員会、青壮年会、婦人会、消防団、PTAなどの活動団体があります。

2. 今、なぜコミュニティなの？



① 地域コミュニティ力の低下

社会情勢の変化に伴い、かつて存在した相互扶助の精神や共同的な秩序、地域の連帯感が低下しており、生活の個人化がより一層進んでいます。結果、地域のコミュニティ力は低下し、人間関係の希薄化や地域活動に対する無関心化が進行しており、こうしたことが、育児や教育に悩む親の増加や、独居老人の孤独死といった様々な課題を作り出しています。

② 厳しい財政事情

人口減少に伴う歳入減少、医療・介護や年金などの社会保障費の増大など厳しい財政事情のもと、これまでのように全てのサービスを市が一手に担うことは困難な状況となってきます。自らの地域のことは、地域自らが考え行動することが求められてきています。



③ 複雑多様化する住民ニーズへの対応

複雑で多様化する住民ニーズに対応するためには、今までのような行政主導で画一的な手法では無理があります。地域の抱える課題は、その地域によって多種多様であり、特に地域に密着した課題は市だけで解決できるものではありません。地域に必要なサービスを、住民と地域、市が連携を取りながら、それぞれの役割を持った協働のまちづくりが必要となっています。

3. 地域コミュニティ推進計画

① 大野地区自治協議会

大野地区自治協議会は、地域が一体となって地域諸課題に対処するとともに、豊かで活力ある地域コミュニティを実現していくための推進母体とするため、地域を代表する新たな市民団体として設立されました。

大野地区自治協議会は5つの部会があり、大野地区町内公民館連合会など25団体が参加しています。部会会議や理事会を設けて、部会や各団体の情報共有化など効率的な地域活動を展開できる仕組みを作っています。

② 地域コミュニティ計画(まちづくりの指針)

地域の課題を地域住民みんなが共有し、この課題解決のための将来ビジョンとして、「大野地区まちづくりの指針」を策定しました。指針では、三つのまちづくりの目標と五つの活動指針を示しています。

スロ-ガ-ン「ひとよし まちよし 明るい大野」

